



こんにちは 府會議員

さこ祐仁 活動報告

2009年3月15日発行 No.71
千本出水下る十四軒町392
さこ祐仁事務所
Tel075-813-2117



広がる貧困・派遣切り いまこそ政治の力が問われています。

この間、毎週土曜日の夜、民青同盟やかえるネットの青年たちがJR京都駅八条口で、路上生活者への炊き出しボランティアにとりくみ、マスコミにも取り上げられるなど話題になっています。私も、生活相談などで少しでも役に立てればと、二月二十八日と三月七日に参加してきました。

バス停で寝ている六十代の男性とお話ししま

した。「大阪で派遣会社から販売の会社で勤めていた。仕事が減少し、週に三日間しか働けな

十二万、十五万と増えてきています。しかし厚労省は直接大企業に掛け合って追求しているわけではなく、企業が労働局に報告した数の集計を出しているだけです。民間の調べでは四十万人を超えると予測されています。

京都府も、府の補助金を出している企業に直接「雇い止めの実態を聞いていない」こと、京都労働局に提出された数字でしかないことが、予算審議ではつきりしてきました。

京都では、中小業者の社長さんが雇い止めをしないように頑張っています。しかし、その企業も「大企業からの受注が十二月まではあったが、この一月からはトンと来ない。あと二カ月もつかどうか」といわれています。

府に「中小企業の実態を把握しているのか？」と問うと、「中小企業サポーターチーム（産業21、商工会議所など）が実態を把握している」という、この緊急事態にまったく他人事のような回答。京丹後市が、市の職員が企業を訪問し問題を把握、対策を講じる努力をおこなっているのと比べてもまったく構えが違います。まず府が現地現場の声をしっかりと聞き、実態に見合った緊急の対策をとるべきです。

お知らせ

三月十七日（火）午後一時より予算総括質疑。知事との直接討論があります。わたしも、かみね議員とともに知事に質問いたします。KBS京都でも報道されます。

今から、かなり緊張しています。みなさんからお聞きした要望を知事に問うていきたいと思



週をおうごとに参加される路上生活者の方も広がっているようです。またボランティアの参加者も増え、七日には地域の方から洋服など衣類の提供もありました。

みなさんの話を聞いてみると、「仕事に就きたい。家で寝たい」と、一刻も放置できないものばかりです。いまこそ政治の力で解決を！と強く思います。

「3・1雇用まもれ!生活危機突破北上 五百人大集会」に参加しました

この三月末での雇い止め人数予測が、厚労省の発表では、この間毎月ごとに変わり、八万、